

# 総務文教委員会

令和7年7月18日(金)  
午後3時30分～ 時 分  
全員協議会室

【委員】 芦谷委員長、沖田副委員長、村武委員、岡本委員、永見委員、西田委員  
【議長・委員外議員】  
【事務局】 濱見次長

---

## 【議題】

- 1 はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて（委員間で協議）
- 2 その他

番号	1	テーマ	浜田城・海浜公園等観光資源の活性化策
氏名	たけした ひろし 竹下 洋		
内容	<p>浜田城址の本丸から見下ろす風景が雑木林のために見下ろすことができない。最近、米子城址など戦略的に観光資源として使うのがTV等でよく取り上げられているが、浜田市は今後についてどう考えているのか。本丸跡地の見晴らしをよくし、観光拠点としてアピールするのはどうか。</p> <p>海浜公園は県の管轄ではあるが、「〇〇禁止」看板があまりに多く、県費を使いながら工夫が見られないのは残念だ。景観がとても良い場所が数カ所あるので、フォトコンテストをしたり、記念碑等を建てて写真スポットとして活用するのはどうか。</p>		
対応	<p>浜田城址については総務文教委員会で対応協議する。海浜公園についてはいただいた意見を公園を管理している指定管理者へ伝える。</p>		

番号	2	テーマ	教育の重要性について
氏名	あもう たかひこ 天羽 貴彦		
内容	<p>社会は常に変化し、その変化を形作るのは今までの教育を受けてきた私たちです。</p> <p>つまり、今の社会がどのように進化し、持続可能なものとなるかは、教育への投資によって大きく左右されます。</p> <p>特に現代の AI や IoT の進化、グローバル化や多様性の時代では、単なる知識の習得ではなく、問題解決力や創造力、適応力が求められます。</p> <p>そのため、教育のリビルドには単にカリキュラムの変更だけでなく、学習の環境や方法の革新も必要になると考えます。</p>		
対応	<p>総務文教委員会で対応協議する。</p>		

番号	3		
氏名	むかい みつき 向井 満樹	テーマ	限界集落における、活動状況のスリム化
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の問題点</li> <li>・高齢化に伴う、活動範囲の限界（例えば、農地維持管理、地域内の役員役職対応）</li> <li>・現状に合った活動の見直し</li> <li>・従来型の組織の守備範囲の見直し</li> <li>・行政最小単位の地区の活用</li> <li>・行政最小単位の地区の活動支援</li> </ul>		
対応	総務文教委員会で対応協議する。		

番号	4		
氏名	まつかわ しょうこ 松川 祥子	テーマ	参加型のイベントがしたい
内容	<p>私は浜田市に住んでいて、イベントが少ないと感じています。調べてみると、年間で約 40 ものイベントがあり、意外と多いことが分かりました。ではなぜ少ないと感じていたのか考えてみたところ、参加型のものが少ないのではないかと思いました。40 のイベントの内容はほとんどが神楽やステージイベントなどの見て楽しむものでした。私たち市民や若者が実際に体験できるものがもっとあると良いと思いました。例えば、スタンプラリーや宝探しなど街をまきこみ、商店街の活性化にもつなげられると良いと思います。</p>		
対応	産業建設委員会で対応協議する。		

番号	5	テーマ	「ミライ☆メーカー浜田」
氏名	ふるかわ 古川 ひろみち 弘道		～子ども×若者×地域が相乗効果を生む循環モデルを～
内容	<p>「浜田をポジティブに」をキーワードに、子どもたちや若者のやってみたいことを、大人が本気で実現していく取組を考える。</p> <p>○子ども×若者が主役になれる3つの取り組み</p> <p>①【小中学校】</p> <p>今やってみたいことまたは将来やってみたいことを1校1校の「夢ボード」に書いてもらい市や企業がその夢ボードを実現していく。</p> <p>●自分の夢を、大人たちが実現してくれた姿を見ることで「憧れ」や「浜田ってすごい」が生まれます。</p> <p>②【高校】</p> <p>生徒がミニ会社を起業し、商品企画→製造→商売→決算までを実体験してみる。</p> <p>●実際に仕事を体験することで、仕事の仕組みを理解し、働くことのすごさや興味関心が増し、地元での企業や就職につながる。</p> <p>③【大学】</p> <p>小・中・高校時代にあつたらよかった遊び場、店舗を大学生がプロデュースし、空きスペースや、空き家等で期間限定の運営をする。</p> <p>●自分たちが過ごしてきた時代のことなのでアイデアが生まれやすいことと、近い年代のかかわりの中で、笑顔や異年齢児とのコミュニケーションが生まれ、大学生には感謝と憧れが向けられる。それ以外の子どもたちには居場所や遊び場が提供される。</p> <p>参加した大人や市の職員・企業については「ミライ☆メーカー」バッジや認定書を交付し、子どもたちの為に本気になった証を誇れるようにする。企業にとってもPRや広告になり得ることとなります。「バッジは”動く広告塔”もらった子どもも、支えた大人も、身に付けて歩くたび浜田の未来をPRします。”ミライ☆メーカー”をまちじゅうに」増やしましょう」</p>		
対応	個人一般質問で取り上げる（大谷学議員）。		

番号	6	テーマ	救命講習の定期開催について
氏名	ふじた あすか 藤田 明日華		
内容	私は浜田市で定期的な救命講習を行った方が良いと思います。理由は、私が先日新聞を読んでいる時に安来市で年間約 90 回の救命講習が行われていることを知り、浜田市でも行うことで助けられる命が増えると思ったからです。調べてみると、浜田市は定期開催ではなく学校や職場単位で申し込みれば講習を受けられるという現状でした。安来市は講習開催の 1 カ月前に申し込みれば講習を受けられるそうです。安来市は浜田市に比べて定期開催のため受講しやすい雰囲気を感じました。ぜひ、浜田市でも定期開催を検討していただきたいです。		
対応	総務文教委員会で対応協議する。		

番号	7	テーマ	島根県立大学 浜田キャンパス学生の家賃補助金
氏名	もり こうすけ 森 洸介		
内容	浜田市の家賃補助金について		
対応	総務文教委員会で対応協議する。		

番号	8	テーマ	浜田市のサードプレイスについて
氏名	いのうえ こういちろう 井上 弘一朗		
内容	浜田市では若年人口が過去 10 年で約 32%減少し、高校生・大学生ともに「居場所がない」「遊べる場所がない」との声があります。私たち島根県立大学の学生を中心に、高校生と連携し、商店街の空き店舗等を活用したチャレンジショップ型サードプレイスを提案します。若者が地域製品の販売やイベントを通じて実践的に学び、地域に貢献できる場です。クラウドファンディングや補助金を活用し、持続可能な地域づくりを目指します。		
対応	総務文教委員会・産業建設委員会で対応協議する。		